



かなうち まさき  
叶内 昌樹 議員

# 既存建物の再活用 の考えは

## 交流施設として活用検討中



交流拠点の活用に期待します（旧富長小学校）

**【質問】** 少子高齢化に伴う空き家増加に対し、雪国である舟形町での早急な対応が求められます。特に高齢者の一人暮らし増加に鑑み、除雪負担の少ない住環境の整備が必要ではないか。

そういった事もふまえ、既存施設である旧小学校の活用について伺います。文部科学省の調査でも廃校の約8割が活用されています。そこで、旧富長校舎の今後の活用方針を伺います。

**【町長】** 両施設とも、建築基準法上「学校」に分類されており、アパート形式の「集合住宅」やホテル形式の「宿泊施設」など、居住用への用途変更を行うには、大規模な改修が必要となります。

富長交流センターについては、現在、東京都港区との交流施設として港区麻布地区総合支所に提案し、アイデアや意見を求めている段階です。舟形町と港区との交流は令和5年度に50周年を迎え、物産展への出店、中学校の修学旅行でのPR活動、港区麻布地区の親子による自然体験活動「麻布地区サマースクール・IN 舟形」など、交流はとも強固になっています。

今後の交流のあり方について港区の動向を注視しながら、必要な検討を進めていく考えです。長沢交流センターにつ

いては、現在、リングロ1株式会社1階から3階までを無償貸与しており、その活用は同社に委ねています。

令和5年4月からは縫製会社が2階に入居し操業を開始するなど、企業による活用が進んでいます。今後もこの現行の活用形態を継続していく方針です。



施設のさらなる活用に期待します（旧長沢小学校）



大区画化工事が実施された美田（三光堰西地区）

**【質問】** 農林水産省は10月31日、有識者でつくる「食料・農業・農村政策審議会食料部会」を開催し、令和8年産のコメの生産約711万トンとの目安を示し、令和7年産実績と比べ約35万トンの減産を公表しました。令和8年産コメの作付け配

分について、町の対応についてお聞きします。

築50年程度経過し、二号楼、三号楼は築40年以上となつていものと思えます。町では大規模修繕等を行い長期使用と利便性向上に努めています。一号楼は火災も発生し使用出来ない部屋もあります。現在入居されている方もおり、対応が難しいとは思いますが、何らかの対応を検討する時期にきていると考えます。町営団地の今後について質問します。

**【町長】** 令和8年度の生産の目安は、17ha増加します。具体的な対応案は①水稲作付け意向調査の実施し作付け予定者により多く配分 ②地域互助会の利用可能上限面積の撤廃により、生産の目安のフル活用 ③8年産において復田した水田に対し、10アールあたり2万円の助成を実施予定です。農家所得の最大化を目指して引き続き検討します。

**【町長】** 舟形団地の耐用年数は70年ですが、快適性や利便性で大きく劣る部分が見受けられます。これらは、間取りや構造が要因であるため、改修により改善することは困難と考えています。また、

今年度は入居の問い合わせが無いことや、人口・世帯数の減少、空き家の増加等から、新たな整備や大規模改修を積極的に進める状況ではなくなつてきていると感じています。新規入居は停止し、各棟の空き状況を勘案し

ながら、住環境の良い棟にまとまっていただき、空になった棟から用途廃止、解体を行い、新たな公営住宅整備は行わないことを基本とし、建物の修繕や入居者の実情に応じた対応を検討していきます。



一部使用不能の町営住宅団地1号棟



おくやま けんぞう  
奥山 謙三 議員

# 令和8年産コメ作付けへの対応は 農家所得の最大化を目指す